

令和5年度第2回仙台市科学館協議会会議録

日 時 令和6年3月19日（火） 14:30～15:30

場 所 仙台市科学館2階会議室

出席委員 磯部裕子委員，河野裕彦委員，庄子裕委員，高田淑子委員，
長島康雄委員，鈴木すみえ委員，松崎雅威委員，松田佳歩委員（計8名）

事務局 石川館長，田中副館長，高橋庶務係長，千葉主任
青木主任指導主事，秋山指導主事，宮崎指導主事，門脇指導主事

傍聴人 無し

議事要旨

1 開会

2 館長挨拶

3 会長挨拶

- 河野会長が議長となり会議を進行
- 議長より議事録署名人に松田委員を指名

5 報告事項

(1) 令和5年度仙台市科学館特別展開催実績について

- 宮崎指導主事から資料1及びスライドにより説明
(質問等)

○ 長島委員

県外からの来館者が多かったことは非常に良かったと思う。

東北地方は人口減少が著しいので、このように市外からも集客できるということはもっと大々的に取り上げてもらっても良いと思う。議員の皆様をはじめ関係者の皆様にも理解していただき、応援していただけるといいかと思う。今回の特別展の実施にあたり、大変な苦労があったからこそ、このような結果に結びつき、取り組みが報われたのだと思う。

○ 庄子委員

いろいろな年代の方が楽しめる内容になっていたと思う。

様々な体験コーナーや講演会、ナイトミュージアムなどいろいろと工夫されており、このアンケートのとおり来場者は十分に楽しめた内容だった。動物園との連携もよく、地場のものをすごく大事にして今年度の特別展は成功したと思うので、今後も地場のものと連携して展開していくといいかと思う。

○ 松田委員

体験の機会が増えたことが満足度の高くなった要因だと思う。特に小学生などは、とにかく触れることがうれしく、何となくわかった気がするというこの経験

が入口として大切で、それがこの満足度につながっていると思う。

逆にその少ない中の不安課題として書かれていることも、その体験が楽しかったからこそ、もっとたくさん体験できるよう体験コーナーを増やしてほしいという意見ではないかと考える。

資料6 ページのナイトミュージアムツアーについて質問したい。

普段開いていない夜の時間帯の水族館や動物園、それ以外の芸術系の施設などのこのような企画を多く聞くように思う。夜行性の動物や普段見ることのできない動物の生態を観察することができること、夜という非日常感の楽しさを感じることができること、保護者の方が子供との時間を共有しやすいこと、小学生の高学年などが写す写真のシチュエーションを意識していることなどを、実際に話をしてすごく感じている。

今回の企画におけるそのような夜ならではの要素についてお聞きしたい。

○宮崎指導主事

生物などに比べてどちらかというと関連性は薄いですが、夜という非日常の空間で特別展示や常設展示を見ることができること、それから暗さを活かした催しとして、ブラックライトを使ったスタンプラリーを企画した。初めに実験室内で、普段は見えないがブラックライトをあてることで、納豆パックから数字が表れたり、封筒からバーコードが出てくるなど、身近にあるものを使って、導入としてブラックライトを使った簡単な教室を行った。その後、展示室内7か所に設置された夜や暗さにまつわるエピソードのパネルを見つけて、その中身を読んだ後、近くにいるスタッフに声をかけると問題が出題され、回答するとブラックライトをあてることで見えてくるインクを使った文字のスタンプを押すというスタンプラリーを行った。最後に文字がそろって言葉になったら、プレゼントとして、蛍光素材を用いて当館の3Dプリンターで作成したものをプレゼントした。他、普段に無い場所として床面を使った映像展示などを展開した。

○松田委員

夜を活かした非常に魅力的な展示だと思う。4～5倍の申込があったということなので、継続していただきたい。

○磯部委員

松田委員が発言されたように、夏休みならではの企画であり、倍率が4～5倍ということは抽選から漏れた人がたくさんいるということでもある。

夜の企画の場合、科学館職員の負担が増えるかとは思いますが、これだけニーズがあるということがよくわかった数字でもあり、子供たちにとってとてもいい機会なので、ぜひ今後も企画してもらいたい。

○石川館長

委託している警備員や受付スタッフにお願いすると追加の人的費用が発生するた

め、このナイトミュージアムは若干のアルバイトも参加しているが、職員の人件費および若干の残業で実施することで20年ぶりに実現することができた。すごく人気の高いものだったので、次回の夏にも実施できればとは考えているが、新しい人員体制を見ながら検討していきたい。

○高田委員

最終日に見に行ったが、とても盛況で、子供たちが生き生きと見学している姿に感動した。

ナイトミュージアムはどのような抽選方法だったのか。仙台市民は優遇されるなどはあったのか。

○宮崎指導主事

申込まれたのはがきから30枚を無作為に選ぶ方法である。

○高田委員

仙台市の税金で実施しているという点もあると思うが、このような企画により全国から仙台市に多くの人をよびこむという視点もあるかと思う。

実施に際してのリスク管理について伺いたい。

○石川館長

基本は保護者と同伴という形にしており、30組に対し、同組数くらいの職員等を見学対象場所全体に配置していたことから、リスクに関しては問題なかったと考える。

○庄子委員

広報において、学校で配布されたリーフレットは非常に有効だということで、改めて学校の役割について認識させられた。想像ではあるが、例えば学校の先生も、科学館には指導主事の先生方がいるので自分の生徒に案内しようかななど、そういった担任からの一言があるのとないのでは大きく違うのではないかと考える。

(2) 第69回仙台市児童生徒理科作品展開催実績について

○門脇指導主事から資料2により説明

(質問等)

○高田委員

「自由研究の進め方を学ぼう(自由研究教室)」の開催方法について、小学校3、4年生と中学生が同じ講座で学ぶというのはイメージがつかない。令和元年度開催のように人数が多ければ、また違った取り組み方があるかと思う。というのは、今後は大学入試や高校でも探究の授業が始まり、大学のAO入試などでは自分が今までやってきたことをアピールしていく時代になっており、そうしたときに自由研究というのは1つの手段となりえるので、恐らくニーズは増えていく

のではないかと考える。

○門脇指導主事

検討していきたい。

○庄子委員

自由研究教室はとても大事だと思う。令和元年度くらいの人数が集まると大変かとは思いますが、コロナも明けたので積極的に宣伝して、子供や親を呼んでいただきたい。興味はあると思うし、それがそのまま夏休みの理科作品展につながることもなる。

また、子供たちが興味をもっているが、先生側が理科離れしている様子がある。理科作品展の審査についてわかっておらず、これは小学校の理科部会の問題でもあるが、自由研究教室までいかなくても、普段来る機会のない科学館に先生たちをよんで指導主事の先生方からいろいろと教わるということは大事ではないかと思う。たくさんの教員を集めるまではしなくていいかと思うが、特別展が開催されている時に、そのような教員が来られるようなきっかけを作ると、先生方の理科離れを防ぐことになるのではないかと思う。

○長島委員

国を挙げて探究の力を伸ばすことが、学習指導要領の改訂で打ち出されている。

今後、「探究」の力を伸ばすことが、科学館の重要な役割の1つになっていくと考える。自由研究教室の開催で、「学び方を学ぶ」「研究の仕方を学ぶ」場を科学館が提供していることを広く伝えることは、科学館のプレゼンスを上げるうえで重要になっていくかと思う。協議会の委員が、それぞれの立場で優れた科学館の取り組みを紹介する形で、応援していくことが大切だと思う。

○石川館長

いろいろとご意見をいただいたので、補足させていただく。

4ページの表を見ると、コロナ禍の前後で参加者数が激減している。ここの分析等は詳しくできていないが、実際に中学生の参加はゼロであった。時期も6月の25日・26日ということで、中総体の終わりや、中間試験の時期にも重なっていることなども影響しているかと考えるが、中学生がゼロであったことに関して、分析等により次年度に活かしていければと考えている。もちろん、小中連携して理科教育に取り組むということを昨年の夏ころから教育局全体として話し合いを進め、科学館だけではなく学校現場でもいろいろなことを実施しているが、どうもその時だけになってしまい、つながっていかないところがある。さらに連携を深めていろいろとやっ払いこうということで考えているので、委員の皆様からいただいた意見を参考にしながら、また次年度以降取り組んでいきたい。

(3) 仙台市科学館展示リニューアルについて

○秋山指導主事からスライドにより説明

(質問等)

○鈴木委員

来月のオープン時に何かセレモニーを実施するか。

○石川館長

25日に内覧会を予定しており、その際は委員や議員、教育委員会の方々や、近隣の小中学校の校長先生や町内会長の皆様などを招待しようと考えている。

翌日26日は大々的なイベント等は実施せず、25日に来ていただいたマスコミの皆さんにコマーシャルしていただき、またすぐにゴールデンウィークでもあるので、自然な形で広がっていけばと考えている。

(4) その他

○高橋係長から内覧会について案内

6 事務連絡

○石川館長から今期の委員の皆様にお礼のあいさつ

7 閉会

令和6年7月26日

議事録署名人

仙台市科学館協議会 会長

河野 裕彦

仙台市科学館協議会 委員

松田 佳歩